

## 事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 6 年 3 月 5 日

公表: 令和 6 年 3 月 31 日

事業所名 SunRise

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	1		
	2	職員の配置数は適切である	5	1	専門職も配置し職員数の不足する事が無いよう配置している。	今後も職員の獲得と教育に努めさらに手厚い療育の提供を心がけていきます
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	0	・持参物の管理が自分で出来る様視覚支援を取り入れ環境を整えている。 ・静と動の空間を分けている。視覚的に分かりやすい環境を作っている。 ・視覚支援を取り入れている。	事業所が2階な為、入り口まで階段がありバリアフリーの面では不安がありますが必ず手を繋ぎ安全面での配慮をしっかりと行っています。今後もお子様の視点を大切に分かりやすい環境づくりに取り組んでいきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	0	感染症対策に力を入れ消毒を徹底している。	室内は毎日整理整頓・消毒を行い心地よい空間の提供に努めていきます。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1	職員間の共有の声掛けが随時なされている。	定期的なミーティングにより全職員が参画できる様今後も努めてまいります。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0		保護者評価からのご意見を受け止め業務改善に努めてまいります。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0		今後も継続して保護者評価と事業所評価を行い、内外から事業所をチェックしより良い事業所となる様努めていきます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	2		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1	定期的にZOOM研修、新人研修をしている。	法人内で様々な研修・スキルアップ支援を行っております。今後も職員の資質向上に努めていきます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6			
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	2		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	0		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	・専門職(ST, OT)の意見も取り入れてプログラム立案を行っている。	毎月ミーティングを行い職員間の意見交換をしながらプログラムの立案をおこなっていきます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	発達に合わせて「ねらい」を考え工夫している。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6	0		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	6	0	プログラムや送迎について口答で伝達を行い、情報の誤伝達が無いように配慮している。	今後も、朝礼時に必ずその日の支援内容の確認・役割分担を行ってまいります。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	4	・翌日に前日振り返りを行って共有している。 ・振り返りを当日行えなくとも必ず職員間での情報共有を行っています。 ・普段の会話の中での共有もしている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1		今後も日々児童一人一人の様子を記録に取り申し送り、改善に努めていきます。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0			

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	児発管が出席し全職員の共有をしている。	児童発達支援管理責任者が必ず参加し様々な事業所などとの連携を行っています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	0		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	/	/	現在、医療的ケアが必要なお子様や重症心身障害のお子様が通所されていない。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	/	/	現在、医療的ケアが必要なお子様や重症心身障害のお子様を通所されていない。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	1	定期的に保育園と事業所で成長を共有し連携を取っている。	定期的に保育園・幼稚園などに事業所での様子をお伝えしております。今後も移行支援として情報共有をしっかりと行っていきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	5		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	4		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	2		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	送迎時のお伝えと共に定期的に療育の見学を勧めている。	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	1		個別での対応を中心におこなっておりますが、今年度は感覚統合の研修会を設けました。今後も保護者様のお力になれる支援の提供を行っていきます。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	・保護者会を開催。 ・送迎時の保護者との会話を職員間で共有している。	定期的な相談と共に、必要に応じて相談を受けさせて頂いております。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	0	・はびねすカフェなどを開催し、和らいだ雰囲気の中で保護者様の支援をしている。 ・保護者会を開催。	今後も保護者の方の交流の場を支援していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0		個人情報の取り扱いは職員間でとっていております。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4		

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0	職員周知は出来ているが保護者様への周知が足りていない。	今後は保護者様にも、さらに分かりやすい周知を行っていきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	毎月、訓練を実施し災害時に備えている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	0		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	1		今後も定期的に研修の機会を設け、虐待防止の意識を高めてまいります。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	0		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。